

治験医総括レポート

被験者No.5:T.Mさん

26歳、女性

症状の程度

中度～重度

販売店様用

撮取前

- ・首周囲から前胸部にかけて乾燥肌、苔癬局面を呈し、掻破痕、痂皮も認められた。
- ・肘窩では全体的に軽度の乾燥と苔癬化が見られ、小数ながら丘疹も生じていた。
- ・両下肢において重度の苔癬化を形成し、魚鱗癬様変化を認めた。また、紅色丘疹の集簇も見られ、乾燥した皮膚病巣に加え、糜爛も認められた。
- ・肘窩は乾燥肌を呈し、皮膚が硬く軽度の苔癬化が見られた。
- ・血液生化学検査において、ヤケヒョウダニ、コナヒョウダニ、ハウスダスト、ヨモギ、スギがアレルギーとして陽性となった。非特異的IgEは35661と異常高値を示した。

治療経過

- ・初診時と比較し、比較的掻痒感は軽快してきたが、**空気が乾燥したときには、掻痒感が高まる**などして、著明な変化は認められなかった。
- ・体表面上では大きな変化はないが、**掻痒感が消退したせい**か、前胸部の掻破痕は軽快し、鱗痂皮を伴った乾燥肌の占有面積は減少した。

検査所見

- ・アレルギー項目において有意な変化は認めなかった。
- ・IgEに関しては治療経過中、**漸減傾向**が見られた。

総括・考察

- ・自覚症状の著明な改善は見られなかったものの、**身体所見、血液検査上では、良好な結果**が見られた。
- ・皮膚症状の乾燥度合いが弱まり、また痒みが軽減しているのもあいまって、掻破痕の減少、びらの程度も軽減した。
- ・苔癬化、魚鱗癬などは残存していたものの、初診時と比し、皮膚病巣における健常な皮膚への置換も見られた。
- ・初診時の症状（特に、前胸部、下肢）が重く、3ヶ月という短い期間では著明な改善が見られなかったが、経過から鑑みて、**長期服用で更なる改善が望まれるのではないかと期待**している。

26

販売店様用



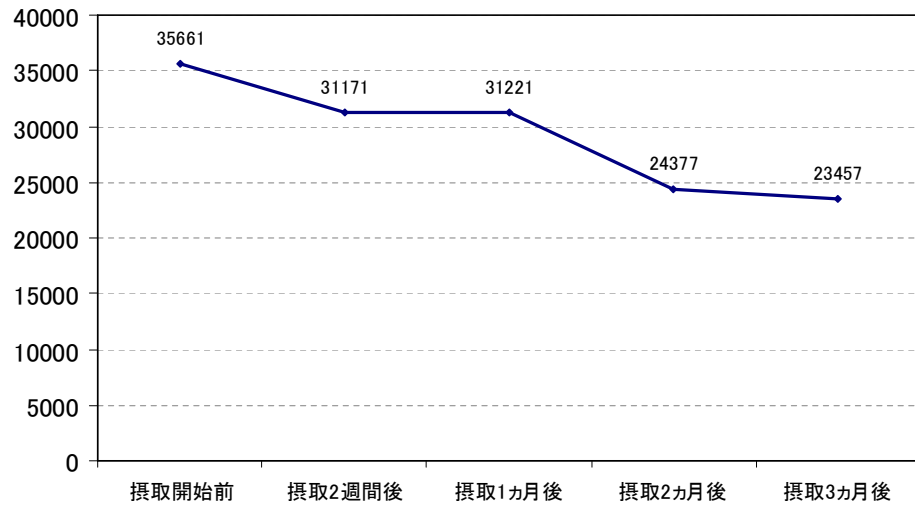
Fig.1
初診時：上腕部



Fig.2
11/14再診時

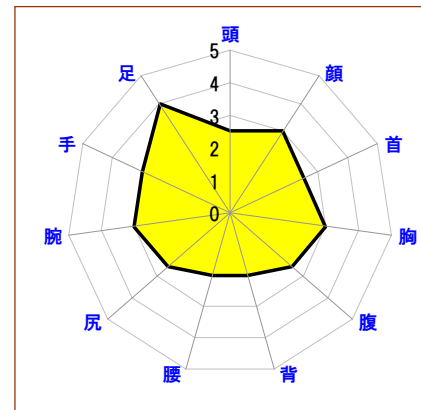
27

IgE

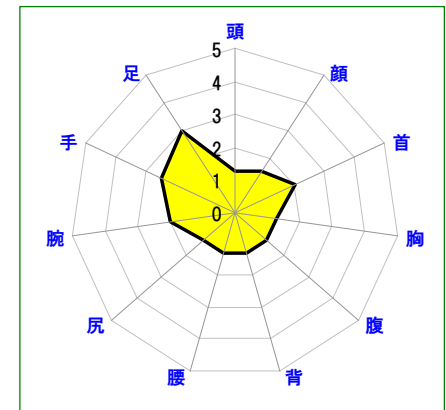


スケールアンケート【自覚症状】

摂取開始前



摂取3ヶ月経過



《症状が強い=5 ~ 症状が弱い=1 ~ 症状がない=0》